※令和４年度以降入学生用

学校番号	3028

令和５年度　教育文理科

教科	教育文理	科目	国語探究Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新論理国語（三省堂）　新文学国語（三省堂）						
副教材等	読解現代文必携　キーワードの卵（尚文出版）国語常識の演習と整理　プライム常用国語（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校や中学校で体験した探究活動を基盤として、そこで得た力をより高度に伸ばします。
・また、次の世代がその力を身に付けるために、自分に何ができるか、過去の教育論文や研究成果等から興味ある方法（例：ジグソー・ブレインストーミング・フィッシュボーン等）を活用した実践の中で自らが取り組むべき課題を見つけてください。
・授業では、自ら課題を発見し、周りの人と協働して考えを深める活動を行います。

2　学習の到達目標

教育に携わるための探究の見方・考え方を働かせ、国語で的確に理解し効果的に表現するための課題を発見し解決していくための基礎的な資質・能力を次のとおり育成する。

（１）教育に携わることを含めた、生涯にわたる社会生活に必要な国語について、自己の在り方生き方を考えながら、言語活動における様々な方法論の実証的検証等の取組を通して、その特質を理解し適切に使うための基礎的な知識や技能を身につける。

（２）国語に関する課題を設定して探究し、他者との関係について考察する基礎的な力を身につける。教育的課題への興味や関心を広げ、調べ学習や発表を通して伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ深めるための基礎的な力を身につける。

（３）探究のプロセスにおいて、目的と解決の方法に矛盾がない整合性、適切に資質・能力を活用している効果性、焦点化し深く掘り下げて探究している鋭角性、幅広い可能性を視野に入れながら探究している広角性等を意識的に高めるように努める取組を通して、言葉のもつ価値への認識をより深め、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自信が持てるように、考え抜く態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	教育に携わることを含めた、生涯にわたる社会生活に必要な国語について、自己の在り方生き方を考えながら、言語活動における様々な方法論の実証的検証等の取組を通して、その特質を理解し適切に使うための基礎的な知識や技能を身につけている。	国語に関する課題を設定して探究し、他者との関係について考察する基礎的な力を身につける。 教育的課題への興味や関心を広げ、調べ学習や発表を通して伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ深めるための基礎的な力を身につけている。	探究のプロセスにおいて、目的と解決の方法に矛盾がない整合性、適切に資質・能力を活用している効果性、焦点化し深く掘り下げて探究している鋭角性、幅広い可能性を視野に入れながら探究している広角性等を意識的に高めるように努める取組を通して、言葉のもつ価値への認識をより深め、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自信が持てるように、考え抜く態度がみられる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	小説を読む ［教材］未定	a：小説の構成を把握し、文章中の語句の意味を正確に理解することができる。 b［　読　］：ストーリーを通読した後、割り当てられた場面を精読し、登場人物の行動・主な心情を読み取ることができる。 c：読解したものから自分の考えを客観的に記述し、かつ発表し、他者の意見を踏まえながらよりよいものに深めていこうとしている。	ワークシート 定期考査 振り返りシート	ワークシート 定期考査 評価シート 振り返りシート	ワークシート 定期考査 評価シート 振り返りシート
	新聞を読み比べる ［教材］未定	a：現代社会おける様々な問題点の主な内容を理解することができる。 b［　話/聞　］：同じ話題で取り上げ方の異なる社説を比較し合い、それぞれの社説の主張・根拠・理由付け・論証方法などを検討する。話し合いの結果を発表することができる。 c：比較した内容から社説の主張の説得力について考察している。	ワークシート 定期考査 小テスト 振り返りシート	ワークシート 定期考査 評価シート 振り返りシート	ワークシート 定期考査 評価シート 振り返りシート
2	様々な資料を使って小説を読む ［教材］未定	a：作品の成立した時代背景や作品が置かれた状況などを各自で調べることができる。 b［　読　］：作品を精読し、集めた資料から見えてくる登場人物の心情などについて読み取ることができる。 c：各自で読み取ったものをグループごとにまとめ、発表することができる。	ワークシート 定期考査 小テスト 振り返りシート	ワークシート 定期考査 評価シート 振り返りシート	ワークシート 定期考査 評価シート 振り返りシート
	評論を読む ［教材］未定	a：評論の構成を把握し、文章中の語句の意味を正確に理解することができる。 b［　書　］：評論の論点を整理しながら要旨を整理し、グループワークを経てから筆者の結論に対する自分の考えを文章にまとめることができる。 c：まとめた要旨についてグループごとに話し合い、発表することができる。	ワークシート 定期考査 小テスト 振り返りシート	ワークシート 定期考査 評価シート 振り返りシート	ワークシート 定期考査 評価シート 振り返りシート
3	大阪にゆかりのある小説を読む ［教材］未定	a：グループごとに作品を選び、作者や作品の時代背景などについて理解することができる。 b［　読　］：各自精読し、内容を理解することができる。 c：作品における課題を見つけ、調べたことをふまえて作品をより深く理解し、その内容を発表することができる。小説に出てきた場所を訪れ、作品への理解をさらに深めている。	ワークシート 定期考査 振り返りシート	ワークシート 定期考査 評価シート 振り返りシート	ワークシート 定期考査 評価シート 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準［ｂ］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　３０　）時間